

「社会にかかわる」子どもを育てる授業づくり②

交通事故のない安全なまちをつくろう！

～小学校４年「事故からくらしを守る」～

この単元では、関係機関が地域の人々と協力して、交通事故の防止に努めていることを学びます。この単元を指導する際に配慮すべきこととして、『小学校学習指導要領解説 社会編』に次の記載があります。

地域の安全は互いに協力したり共に助け合ったりして守ること、自分も地域社会の一員として自分の安全は自分で守ること、が大切であることにも気付くように配慮する。（※下線は筆者）

このことを考慮して、子どもたちが、地域社会の一員として交通事故の無い安全な地域づくりにかかわる活動を設定します。

交通事故の防止を呼びかける広報活動

例えば、単元のまとめの段階に、学んだことを生かして「交通事故の防止を地域の人々に呼びかける広報活動」を子どもたちに考えさせます。広報活動の例として、次の三つを紹介します。



「事故防止を呼びかける立て看板やポスターを作る」

⇒ 学校の校門付近に看板を立てかけたり、地域の掲示板等に掲示したりする。

「事故の起こりやすい所を調査して地図を作成する」

⇒ 作成した地図を地域の回覧板で各戸に回覧してもらう。

「交通安全を呼びかけるマスコット等のグッズを作る」

⇒ 交通安全を呼びかける手作りのマスコット等を家族や近所の人に贈る。



この広報活動は、「どのようにしたら自分たちも地域に貢献できるか」という視点を子どもたちに与えています。そして、自分たちが考えた広報活動を実際に行うことを通して、子どもたちは、「社会にかかわる実感」をもつことができるでしょう。